

令和元年 忘年会

日時：令和元年12月7日(土)
場所：ひさご庵



田巻 友一 (新潟県)



12月7日(土)、松風東京営業所にて第3回特別研修会が開催されました。講師は窪木 拓男先生(岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野教授)により「超高齢化社会における口腔インプラント治療のあり方―最期まで患者に寄り添うために―」という演題でご講演いただきました。

インプラント治療を行った後の予後を長期的な観点からも考えた上で治療計画を考えないといけないことが改めて感じられたご講演でした。令和元年の忘年会は、平成最後の忘年会に引き続き、瓢庵での開催となりました。笹谷和伸専務の総司会のもと、田中讓治会長の挨拶に始まり、特別講演を賜った窪木卓男教授、中野喜右人副会長、井汲憲治関東甲信越支部長と続き、相浦洲吉名誉会長による乾杯の挨拶で始まりました。特筆すべき内容は、来年は第50回日本口腔インプラント学会記念学術大会を、大会長 井汲憲治先生、実行委員長 田中讓治先生で開催されます。会員の先生方一丸となって盛り上げて支えて行こう！と忘年会に参加された先生方の

熱意が感じられました。個人的な感想は、参加させて頂いて2年目ですが本会は会員の先生方の情熱が毎年印象に残ります。

皆様気さくで親身に接して頂き、僕も将来こうなりたいと毎年憧れの感を抱く会です。自分の人間性、技術の未熟さ含め何年かかるか前途多難ですが日々精進しなければと再認識させられます。忘年会と言えば、恒例の栄えある「インプラントバカ」の表彰でしたが、今年は古市嘉秀先生と若井広明先生の受賞となりました。

その後、今年の専門医合格された津川順一先生、甘利佳之先生からご挨拶を頂きました。次いで、新入会員の先生方のご挨拶と続き、締めは大田善秋副会長の一本締めで盛り上がり、大変盛会となりました。2次会はプリバードという夜景がきれいに見えるお店、3次会は銀座でカラオケと、夜が明けるまで盛り上がり、今年の忘年会は幕を閉じました。参加された皆様、大変お疲れ様でした！

令和元年 忘年会

